

これからもきれいな川で

白石城お堀清掃

3月27日、恒例の「白石城お堀清掃」を沢端川周辺で行いました。この活動は、毎年春と秋の2回、沢端川などの土砂上げと補修をするために行っている川干に合わせて、川底や川沿いのごみを拾い集める取り組みです。

例年は市内の企業や団体・個人などのボランティア数百人が集まって行う活動も、今回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために関係者のみで実施しました。

主催した白石市観光協会佐藤善一会長は「宮城県独自の緊急事態宣言が出ている中なので、非常に残念ですが、ボランティアの方の参加はご遠慮いただきました。日ごろから地域の方たちが中心となって沢端川周辺の景観維持にご尽力いただいているので今回集まったゴミも少なくなってきました。これからも市民に愛される、きれいな沢端川を守っていきたい」と話してくれました。



1



2

1_関係者44人のみが集まって実施しました 2_川干で水位が下がっているなか川底のゴミを集めました

絵画を通じて魅力発信

白石蔵王駅に絵画作品を展示

4月4日、白石工業高等学校出身の小松大希さんと、本市出身の木村美香さんが白石蔵王駅に新たに展示した絵画作品の展示説明会が行われました。

二人は学生時代を過ごした白石に、絵画を通して恩返しをしたいということで、これまでも作品を寄贈していただいておりますが、本年2月に新たに制作した3作品についても寄贈の申し出がありました。

小松さんの作品は設計に用いるCADを使って描くのが特徴。絵画以外にも、福島交通飯坂線新車両の外装デザインも手掛けています。

木村さんは学生時代に絵画作品で受賞歴を持つほどの腕前で、現在は仙台うみの杜水族館のイルカ・アシカトレーナーとして勤務のかたわら創作活動を続けています。

これまで寄贈していただいた作品は、白石蔵王駅構内の改札前コンコースに展示中です。



1



2

1_2月に行われた寄付受納式の様子 2_「しろいしツナガルギャラリー」という愛称で展示しています

地域の歴史を継承するために

三沢城跡案内看板を設置

3月24日、白石市大鷹沢まちづくり振興協議会による三沢城跡の案内看板の完成披露会が行われました。案内看板は令和元年東日本台風被害により損傷したため、同会がまちづくり交付金を活用して新しく設置したものです。同会の大槻恒夫会長は「三沢城跡は大鷹沢地区を代表する文化財の一つです。本丸までの道中の看板には大鷹沢小の児童から募集した絵が入っているので、それも楽しみながら歩いてほしい」と話していました。



▲本丸跡までの道中案内看板6枚も新たに設置しました

野球ができる喜びを！

益岡公園野球場落成式

4月3日、改修工事が行われていた益岡公園野球場の完成記念式典を行いました。益岡公園野球場は、平成28年度から全面改修が始まり、外野フェンス設置や管理棟の新築、ナイター設備のLED化などを行い、一新した素晴らしい球場に生まれ変わりました。

山田市長は「利用者の皆さんがより使いやすい球場になっているので、多くの皆さんに利用してほしいです」と、本市の野球人口が増えることに期待を寄せていました。



▲落成を祝い、テープカットする関係者たち

伝統文化のこけしに触れて

小学生がこけしの絵付け体験

4月13日、福岡小学校でこけしの絵付け体験が行われました。この絵付け体験は、弥治郎系こけし工人を講師に迎え、市内の小学校6年生を対象に実施。この日の授業で児童たちは、工人から顔や模様の描き方などを教わり、思い思いのこけしを描いていました。

体験した児童は、「初めてこけしを絵付けして難しかったですが、とても楽しかったので、また絵付けしてみたいです」と笑顔で話してくれました。



▲こけし工人に教わった描き方で、真剣に絵付けする児童

【お詫びと訂正】4月号の34ページ上段の見出しに誤りがありました。正しくは「やさしい日本語でわかりやすく」です。お詫びして訂正します。